

観光地選択と SNS の関連性

近年観光客誘致を進める上で重要視されているのは、インターネットを利用した SNS によるプロモーションである。インターネットの普及率は年々増加傾向にあり、趣味や娯楽などの情報を取得する際に SNS を利用している人が多い。また、遠く離れた土地に居ても、リアルタイムに情報を入手することができるということは、インバウンド集客に大きな影響力を持っている。その他に、入り込み客数等が減少していた草津温泉が、SNS を意識した周辺施設の再設備を行ったところ、訪れる観光客の人数が増加したことからも、近年の観光業において SNS が重要になってくることが考察できる。アンケート結果からもインターネットが普及したことで情報の取得方法が多様化して、簡単にたくさんの情報を比較することができる SNS などが、多く利用されていることが分かった。情報の取得先の幅が広がったり、自分自身が何かを発信したりすることからも利用者が増えている要因ではないかと考察できる。これらのことから、今まで温泉や食べ物を楽しむことを主に決めていた観光の目的や場所から、SNS が普及したことで、情報を発信するためや写真を撮ることが目的になったり、「インスタ映え」する景色が見られる場所やアニメ・映画などで使われる土地に行くということに変化したことを証明することができた。